

「佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画」 に関する市長コメント

つい先程、山口佐賀県知事が小野寺防衛大臣と会談され、佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画について、国が20年間に計100億円の着陸料を支払うことなどの条件で文書合意し、正式に受け入れる考えを表明されたと知りました。

本市と佐賀県は、「佐賀空港における航空機の運航に伴う環境保全に関する合意書」を締結しており、この合意書の第4条（計画変更時の協議）において、「空港用途を変更するとき」は、本市への報告と誠意をもった協議を行うことを定めております。

また、他にも本市では、平成26年11月5日に当時の古川前知事へ、また、平成27年11月4日には、山口知事に対して、「佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に関する要請書」を手交し、その中で、オスプレイ等の佐賀空港への配備に関しては、「誠意をもって柳川市と協議すること」、「配備計画の是非を判断するに当たっては、柳川市の意向を十分に踏まえること」について要請してきました。

山口知事からは、「真摯に重く受け止めてしっかり対応していきたい」との回答もあっていたところ、本日、突然の配備計画受け入れの表明をされたことは、頭ごなしに自治体間・行政間の約束を反故にされ、完全に裏切られた気持ち、そして、怒り心頭で怒りの矛先を収めることができないというのが今の率直な気持ちでございます。

本日の報道の件に関し現段階では、佐賀県からの報告を受けておりません。

平成30年8月24日

柳川市長 金子健次